

【児童への話】

先週ついに、桜が開花しましたね。今週末には満開を迎えます。学校生活は今日を入れて、6年生があと3日、1～5年生があと2日です。自分の荷物などの整理は大丈夫ですか？「立つ鳥跡を濁さず」と言います。教室の環境を整え、新しく生活する人たちに気持ちよく引き継げるよう、頑張ってくださいね。

小学校はたったの6年間です。小学校での生活は、皆さんが大きな社会に出ていくための最初の一步、「小さな社会」の経験になります。多くの友だちや先生との関わりを経験しながら、この世界を少しずつ知り、自分のものにしていくことが大切です。その経験が多ければ多いほど、皆さんの人生の糧となり、明るく楽しい人生を送ることができるようになるでしょう。校長先生は、番町小の全員が、幸せになって欲しいと願っています。

皆さん、この1年間、自分のクラスは楽しかったですか？楽しかったと思える人は、とても幸せなことでしたね。次の1年間も、新しいクラスや学校で、先生や友達と協力し合い、楽しいクラスと仲のよいお友達を作っていくてください。

残念ながらそうとは言えない人は、次の1年が本当に楽しくなるように、今の自分の後ろ向きな気持ちを切り替えてみてください。来年はこんなお友達が欲しいな、とか、新しいクラスではこんな楽しいことしたいな、と前向きに考えて、4月からまた、元気に学校に通ってください。

4月からは全員、新しい学年や学校で、新しいクラスの友達との生活が始まります。先生たちは、皆さんの成長を願う、一番の味方です。クラス替えは、自分を大きく成長させるチャンスと考え、楽しく充実した1年間にできるよう、全員で頑張っていきましょう。6年生は、この番町小で頑張った誇りを胸に、明後日の金曜日、立派に巣立っていくてください。

【本講話について】

いよいよ最終週となりました。この1年間を振り返り、子どもたちが自身の学びや成長を振り返るとともに、4月からの学校生活への明るい希望をもって欲しいと思っています。

本年度からは、卒業式や修了式の前に教員の人事異動が公表されることとなります。本講話のあとに、この3月いっぱい番町小から離れる教員を子どもたちに紹介しました。名残は尽きませんが、「さよならだけが人生だ」の言葉のとおり、今までの関わりへの感謝の思いを胸に、教員も子どもも笑顔でお別れできると嬉しいですね。そして明後日金曜日、最高の卒業式で本年度の教育活動を締めくくりたいと思います。